

<div>学校運営協議会議事録</div>	作成日 令和6年 11 月 20 日
	作成者 川角 雄三
会議名:令和6年度 第2回小田原高等学校 学校運営協議会	
日時:令和 6 年 11 月 20 日(水) 15:10～16:00 場所:第一会議室	
<p>時程・議題</p> <p>(1) 学校運営協議会(司会 副校長 / 記録 溝淵教諭・川角教諭)</p> <p>【学校評議委員会委員、学校担当職員】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長より 2. 令和6年度 学校評価 目標設定について(各グループから) <ul style="list-style-type: none"> 全日制課程 <ul style="list-style-type: none"> [菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭] [山口 真也・教務グループ 総括教諭] [由元 美保・研究開発グループ 総括教諭] [田中 雄士・研究開発グループ 総括教諭] [三井 栄慶・キャリアガイダンスグループ 総括教諭] [飯塚 貴仁・生徒支援グループ 教諭] 定時制課程 <ul style="list-style-type: none"> [柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭] [改田 晃・教育活動推進グループ 教諭] 3. 質疑応答・委員からの意見聴取 <ol style="list-style-type: none"> 1 地域連携部会の視点から 2 学校評価部会の視点から 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> 今後の予定 <p>(2) 定時制授業観察 16:20～17:00</p>	

(1) 協議

①会長より

②全日制学校評価中間報告

- [菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]
 - ・学校説明会、小田高カミングデー、県西地区合同説明会等の開催報告。
- [山口 真也・教務グループ 総括教諭]
 - ・「理数探究」等、SSHの授業展開の工夫、時間割上の充実を図る。
 - ・成績処理等での事故防止を徹底する。
- [由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]
 - ・生徒による授業評価を実施。(評価が低下した項目も)
 - ・SSHとして特色ある授業を組み立てる。
- [田中 雄士・研究開発グループ 総括教諭]
 - ・デジタル採点システムを導入。
- [三井 栄慶・キャリアガイダンスグループ 総括教諭]
 - ・データの一元化の整理。
 - ・「社会で活躍する先輩からの講演会」の実施。
- [飯塚 貴仁・生徒支援グループ 教諭]
 - ・体育祭の時期の再検討、部活動での生徒の活躍を報告。SC・SSW の取組み。

定時制課程

[柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]

- ・授業でのサポートの充実、情報ツールや ICT 研修の実施。広報活動の報告。

[改田 晃・教育活動推進グループ 教諭]

- ・生徒指導、生徒支援の報告、下校時の指導。

③質疑応答・委員からの意見聴取

1. 地域連携部会の視点から

全日制

- ・小田高カミングデーでは 200 名以上来校。地域貢献活動をHPに掲載。

◎[委員]

- ・公開することに意味を感じる。

◎[委員]

- ・生徒の挨拶は評価。横並びで登下校することについて課題がある。

◎[委員]

- ・学校説明会については、中学校からも参加人数を増加させたい。

定時制

- ・中学校訪問での情報交換は有意義。キャリア教育講演会の取組みは、地域連携の面でも充実。地域連携の清掃活動も実施。鳥森祭は昨年度より盛況。

◎[委員]

- ・「おだ定カフェ」の復活を期待。通信制と定時制との違いをより明確に説明する必要。

◎[委員]

- ・地域からは良い印象。回覧板の活用等で、文化祭等での地域との連携を深めたい。

◎[委員]

- ・学校説明等は今後も必要。地域貢献としての清掃活動も継続を。

2. 学校評価部会の視点から

- ・今年度、2年次「理数探究基礎」を開始。教員配置や研究方法を模索。生徒の研究は、5領域73のグループで。今後、成果発表会を開催する予定。「Odatech I」「Odatech II」は、他の授業では扱わない内容を取り上げ、各教科が持ち回りで授業を展開(筑波の研究所への訪問、ドローン研修、OIST 見学等)。研究の質の向上を目指す。

◎[全日制PTA会長]

- ・PTA と生徒との更なる交流を。交流の方法を検討。明確な年間計画による授業展開を期待。

「がんばれ小田高基金」の積極的活用を。

◎[定時制PTA会長]

- ・地域清掃の対象箇所の改善を。文化祭の売り上げが向上。作品コンクールの成果等、より積極的発信を。

◎[委員]

- ・工夫ある授業となっている。創造性のさらなる育成を。探究や答えのない課題への取組みを。

◎[委員]

- ・専門分野に取り組めることは良いこと。地域では犯罪防止に向けた取組みへの要望あり。学校でも注意喚起を。

◎[委員]

- ・SCの来校回数は少ないと感じる。「理数探究基礎」のテーマ設定に感銘。中学校でも示したい。

◎[会長]

- ・多面的な教育活動が展開。本校の魅力を学びに生かして欲しい。本校は地域からの注目も高い。情報発信をより積極的に。

⑤その他

- ・第3回の開催は、3月を予定。

[資料]

① 配付資料一覧

- ① 令和6年度 第2回学校運営協議会 次第
- ② 令和6年度小田原高等学校学校運営協議会委員構成表
- ③ 定時制 資料
- ④ 全日制 資料
- ⑤ 定時制公開授業について
- ⑥ 令和6年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)